

問1 1910年代半ばから後半にかけて、日本の輸出額が10億円未満から25億円近くまで急激に右肩上がりとなった背景や、当時の社会状況を説明した文として最も適切なものを選びなさい。 (2022年 香川県公立入試 類似)

1. 第一次世界大戦の影響でヨーロッパ諸国からの製品供給が止まったため、日本が代わってアジア市場などへ進出し、莫大な富を得る「成金」が現れた。
2. 日清戦争に勝利したことで海外市場が拡大し、欧米諸国との関税自主権の回復交渉が成立したことで、輸出額が戦前の3倍以上に急増した。
3. 震災恐慌によるデフレを克服するため、政府が金解禁を断行し、円安を利用して重化学工業製品の輸出を大幅に増やした。
4. シベリア出兵による軍需品の増産と、戦後の賠償金による好景気が重なり、日本は世界最大の債権国となった。

問2 明治政府が、それまでの「収穫量に応じた米による納入」から、地租改正によって「地価を基準とした現金による納入」へと税制を変更した主な理由は何ですか。 (2019年 香川県公立入試 類似)

1. 農民が市場の価格変動を利用して、より高い利益を得られるようにするため。
2. 天候や豊凶による収穫量の変動に左右されず、政府の税収を安定させるため。
3. 武士の特権を維持するために、米よりも管理が容易な現金を蓄える必要があったため。
4. 欧米諸国からの圧力により、日本の通貨価値を国際基準に合わせる必要があったため。

問3 白村江の戦いで唐と新羅の連合軍に敗れた日本は、大陸からの侵攻に備えて国防を強化しました。その際、九州の大宰府を守るために築かれた土塁と堀の名称、および九州沿岸の警備についた兵士の名称の組み合わせとして正しいものはどれですか。 (2024年 香川県公立入試 類似)

1. 屋島城（やしまのき） — 東山道兵
2. 山城（やまじろ） — 武士（ぶし）
3. 水城（みずき） — 防人（さきもり）
4. 多賀城（たがじょう） — 健児（こんでい）

問4 フィリピンの東から北上してくる黒潮（日本海流）は、日本列島の南西方向でその一部が分流します。この分流が、長崎県と朝鮮半島の間にある海峡を抜けて日本海へ流入した後の名称は何ですか。 (2018年 香川県公立入試 類似)

1. 千島海流
2. 親潮
3. リマン海流
4. 対馬海流

問5 1970年代には天然ゴムや魚介類が中心であったタイから日本への輸入品目について、2018年の統計で最も大きな割合を占めるようになり、タイの工業化を象徴している品目は何ですか。 (2022年 香川県公立入試 類似)

1. 原油および天然ガス
2. 衣類および繊維製品
3. 鉄鋼および非鉄金属
4. 機械類や自動車部品

問6 10世紀頃、朝廷が地方の統治を国司に委ね、その権限を強化せざるを得なくなった背景として、当時の社会状況を説明した文として最も適切なものはどれか。 (2018年 香川県公立入試 類似)

1. 戸籍による民衆の把握が困難になり、土地を単位として課税する仕組みへ移行する必要があったため。
2. 武士団の反乱が各地で相次ぎ、軍事的な指揮権を現地役人に一本化する必要があったため。
3. 大陸からの侵攻に備えるため、地方の防衛体制を早急に整える必要があったため。
4. キリスト教の布教を制限し、特定の有力者による貿易の独占を防ぐ必要があったため。

問7 日本の気候区分のうち、瀬戸内地域の気候の特色を正しく説明しているものはどれか。なお、この地域は北側に中国山地、南側に四国山地が位置しているものとする。 (2019年 香川県公立入試 類似)

1. 年間を通じて降水量が少なく、温暖で晴天の日が多い。
2. 一年を通じて降水量が多く、特に梅雨や台風の時期には湿った空気が流れ込み、大雨になりやすい。
3. 夏は南東の季節風により降水量が多くなり、冬は乾燥した晴天の日が続く。
4. 冬は北西の季節風の影響で雪が多く、夏は太平洋高気圧の影響で乾燥して晴天が続く。

問8 小選挙区制を導入することの主な目的や、その結果として生じる傾向について述べた文として、正しいものを選びなさい。 (2016年 香川県公立入試 類似)

1. 有権者が候補者個人ではなく政党名のみを書いて投票するようになる。
2. 同一政党から複数の候補者が立候補するため、党内での競争が激しくなる。
3. 死票が少なくなり、小規模な政党や少数の意見が議席に反映されやすくなる。
4. 大きな政党が議席の過半数を得やすくなり、政局が安定する。

問9 1854年、アメリカのペリーが再び来航した際に江戸幕府が締結し、静岡県の下田と北海道の箱館（函館）の2港を開くことを定めた条約は何ですか。 (2017年 香川県公立入試 類似)

1. 日米和親条約
2. 日露和親条約
3. 日清修好条規
4. 日米修好通商条約

問10 近年の日本の司法制度改革の一環として導入された、警察官や検察官による被疑者の取り調べの全過程を録音・録画する仕組みについて、その導入の主な目的として最も適切な説明はどれですか。 (2024年 香川県公立入試 類似)

1. 被疑者に対する自白の強要を防ぎ、えん罪の発生を防止すること
2. 裁判官ではなく一般の市民が刑事裁判の判決に参加しやすくすること
3. 被疑者の人権を守るために、逮捕の際に必ず裁判官の許可を得ることを徹底すること
4. 犯罪被害者が法廷で直接被告人に質問できる機会を増やすこと

問11 国際連合の主要機関の一つで、広い扇状の議場に全加盟国の代表が集まり、国際社会の平和や安全、予算といった幅広い問題を討議する最高機関の仕組みとして、最も適切なものはどれですか。 (2023年 香川県公立入試 類似)

1. 常任理事国が拒否権を持ち、軍事的な制裁などの強力な権限を持っている。
2. 加盟国がそれぞれ一票を持つ一国一票の原則がとられている。
3. 国際連盟時代と同様に、すべての決議において全加盟国の一致が必要とされる。
4. 事務総長がトップを務め、国際連盟からの引き継ぎ事項や事務作業を専門に行う。

問12 財政赤字の解消について議論する際、道路、港湾、公園などの公共施設の整備のあり方がしばしば問題となります。これらの施設は「社会資本」と呼ばれますが、なぜこれらは主に国や地方公共団体などの公的機関によって供給されているのですか。その理由として最も適切なものを選びなさい。 (2018年 香川県公立入試 類似)

1. すべての公共施設は国民個人の「私有財産」として憲法で保護されており、私企業の介入が禁じられているため。
2. 建設や維持に多額の費用がかかる一方で、私企業が運営しても十分な利益を上げることが難しいため。
3. 社会資本は民間投資を促進するための「固定資本」であり、その利益はすべて私企業に帰属させるべきものだから。
4. 私企業が供給すると価格競争が激化しすぎてしまい、結果としてインフラの品質が過剰に高くなってしまうため。

答え合わせ・解説

問1	答え 1 第一次世界大戦の影響でヨーロッパ諸国からの製品供給が止まったため、日本が代わってアジア市場などへ進出し、莫大な富を得る「成金」が現れた。	1914年に第一次世界大戦が勃発すると、戦場とならなかった日本は軍需品の輸出だけでなく、ヨーロッパ諸国の製品供給が止まったアジア市場などへの輸出を独占的に拡大しました。この未曾有の好景気（大戦景気）により、輸出額は数年で倍増し、海運業や製鉄業などで短期間に巨万の富を築いた「成金」と呼ばれる人々が登場しました。
問2	答え 2 天候や豊凶による収穫量の変動に左右されず、政府の税収を安定させるため。	近代国家としての歩みを始めた明治政府にとって、安定した国家予算の確保は急務でした。それまでの年貢は収穫量に応じて変動したため、凶作の際には政府の収入が激減するリスクがありました。基準を「地価」という固定的なものにし、納税方法を「現金」に統一することで、政府は天候に関わらず計画的な財政運営を行うことが可能になりました。
問3	答え 3 水城（みずき） — 防人（さきもり）	大敗を喫した天智天皇は、唐や新羅が日本へ攻めてくることを恐れ、九州の政治の拠点であった大宰府の北側に巨大な堤防である「水城」を築きました。また、瀬戸内海沿いに朝鮮式山城を築いて防衛線を整え、東国などから集められた「防人」を九州北部の沿岸警備に配置しました。
問4	答え 4 対馬海流	日本付近の海流は、太平洋側を北上する「黒潮」と、その一部が東シナ海付近で分かれ、対馬海峡を通過して日本海に入る「対馬海流」という2つの暖流が特徴的です。対馬海流は日本海沿岸の気候を穏やかにし、北陸地方などの降雪にも大きな影響を与えています。
問5	答え 4 機械類や自動車部品	タイは「アジアのデトロイト」と呼ばれるほど自動車産業が集積しており、日本への輸出品目もかつての農林水産物中心から、電子機器などの機械類や自動車部品といった工業製品へと高度化しました。これにともない、両国間の貿易総額も1970年代に比べて飛躍的に増大しています。
問6	答え 1 戸籍による民衆の把握が困難になり、土地を単位として課税する仕組みへ移行する必要があったため。	それまでの律令制では、戸籍をもとに人々に公地を割り当てる班田収授法がとられていましたが、浮浪や逃亡によって人々の把握が困難になりました。そのため、政府は人ではなく「名（みょう）」と呼ばれる土地を単位として課税する方式に切り替え、その運営と徴税の責任を国司に全面的に任せることで、税収を確保しようとしていました。
問7	答え 1 年間を通じて降水量が少なく、温暖で晴天の日が多い。	瀬戸内地域の気候（瀬戸内の気候）は、北の中国山地と南の四国山地が湿った空気を遮る壁のような役割を果たすため、全国的に見ても年間降水量が非常に少ないのが特徴です。また、緯度が比較的低く、海に囲まれているため、年間を通じて温暖な気候となります。この「雨が少なく温暖」という特性を活かし、古くから塩田での塩作りや、オリーブ、かんきつ類の栽培が行われてきました。
問8	答え 4 大きな政党が議席の過半数を得やすくなり、政局が安定する。	小選挙区制は、各選挙区で1位の候補者しか当選できないため、大きな政党に有利に働き、二大政党制を促す傾向があります。これにより、特定の政党が安定した多数派を形成しやすくなり、政府の意思決定がスムーズになるという利点があります。一方で、落選者に投じられた票が議席に結びつかない「死票」が多くなるという課題も存在します。
問9	答え 1 日米和親条約	ペリーの来航を受けて締結されたこの条約により、日本は約200年続いた鎖国政策を終えて開国しました。この条約では、遭難した船員の救護や、船への薪水（燃料や水）・食料の供給を目的として、下田と箱館の2港を開くことが決められましたが、この段階ではまだ自由な貿易は認められていませんでした。
問10	答え 1 被疑者に対する自白の強要を防ぎ、えん罪の発生を防止すること	過去の刑事裁判において、密室で行われる取り調べでの不当な「自白の強要」が原因で、無実の罪を着せられる「えん罪」が発生したことが大きな社会問題となりました。この反省に基づき、取り調べの内容を録音・録画によって客観的な記録として残し、捜査の透明性を高めることで不正な取り調べを抑止しようとするのが「取り調べの可視化」の狙いです。
問11	答え 2 加盟国がそれぞれ一票を持つ一国一票の原則がとられている。	総会は、国際連合のすべての加盟国によって構成される最高機関です。国の面積や人口、経済力に関係なく、各加盟国が等しく一票を投じる「一国一票」の原則が守られています。安全保障理事会のような一部の国への権限集中（拒否権）はなく、国際社会の世論を反映する場としての役割を担っています。選択肢にある「全会一致」は国際連盟の仕組みであり、現在の国際連合では多数決（重要事項は3分の2以上）で決議が行われます。
問12	答え 2 建設や維持に多額の費用がかかる一方で、私企業が運営しても十分な利益を上げることが難しいため。	道路や公園などの社会資本は、国民の生活や産業活動に不可欠なもののですが、巨額の建設費や管理費が必要な割に、私企業がビジネスとして利益を出すことは困難です。そのため、利益を目的とする民間企業に任せるのではなく、公的な立場から政府や地方公共団体が税金などを使って整備・供給を行っています。